

都市再生整備計画 事後評価シート
荒川地区

平成30年7月

東京都荒川区

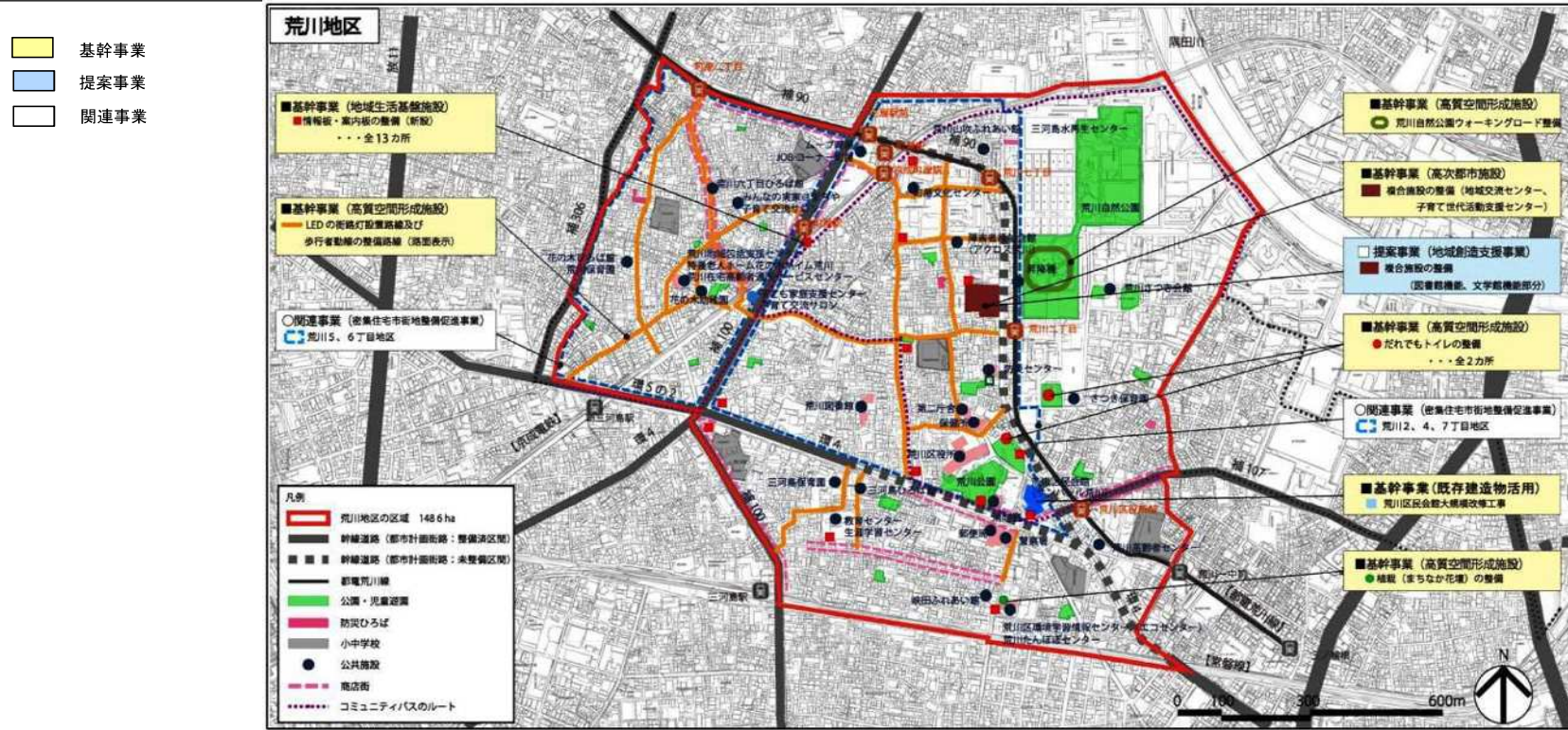
様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 東京都 | 市町村名 | 荒川区(あらかわく) | 地区名 | 荒川地区(あらかわちく) | 面積 | 148.6ha | | | | |
|--------------------------------------|--|--|--------------------------|---------|--|---|------------|---|--------------------------------------|--|---|
| 交付期間 | 平成24年度～平成28年度 | 事後評価実施時期 | 平成29年度 | 交付対象事業費 | 3,811 国費率 | 0.326 | | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 事業名 | | | | | | | | | | |
| | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業 地域生活基盤施設(周辺案内板)、高質空間形成施設(街なか花壇、LED街路灯整備、荒川自然公園内ウォーキングロード整備、だれでもトイレ整備)、高次都市施設(複合施設整備:地域交流センター、子育て世代活動支援センター) 提案事業 地域創造支援事業(複合施設整備:図書館機能・文学館機能) | 事業名 | | 削除/追加の理由 | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | 基幹事業 ・公園・荒川公園拡張・改修 ・高質空間形成施設(路面標示) 提案事業 なし | | | ・拡張予定地の計画期間内での取得が困難なため ・設置予定場所で電線共同溝敷設工事が始まり、設置困難となったため | コミュニティの醸成及びにぎわいの創出に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。 | | | | | |
| | 新たに追加した事業 | 基幹事業 既存建造物活用事業:荒川区民会館大規模改修工事 提案事業 なし | | | 当該施設は、昭和50年にホールや集会室を機能として竣工し、平成22年度に区民交流や地域活動の情報拠点を設置、24年度には芸術作品の発表の場としてギャラリーを設置、25年度には災害時の避難所として指定されるなど、多用途な利用を推進している。一方で電気・機械設備等の老朽化が著しいため、複数のイベントの同時開催が難しいことが懸念となっている。そのため、大規模改修工事が必要となっている。さらに、当該施設は、指標の「文化施設の利用者数」の一施設となっており、大規模改修工事を行い、機能を十分に発揮することにより計画の目標及び指標値達成に寄与するため追加する。 | コミュニティの醸成及びにぎわいの創出に関連するが、指標及び数値目標は据え置く。 | | | | | |
| | 交付期間の変更 | 当初 ー 変更 ー | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | | ー | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | 目標 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ 予定時期 | | |
| | 指標1 | % | 36.4 | H22 | 40.0 | H28 | 31.8 | × | あり なし | 複合施設(ゆいの森あらかわ)の整備等、コミュニティと賑わいの場が創出できた。ゆいの森あらかわは開館して間もないこともあり、荒川地区内の地域の行事・活動への参加率の向上に寄与するまでには至らなかった。しかし、区内全域から利用者が集まる施設でもあることから、区全体の数値では39.0%とおおむね目標値を達成できた。 | ー |
| | 指標2 | 人 | 1,155,199 | H22 | 1,510,000 | H28 | 1,645,816 | ○ | あり なし | 情報案内板やLED街路灯、だれでもトイレの整備により街なかの回遊性を高めるとともに、区民会館の大規模改修並びに複合施設(ゆいの森あらかわ)の整備により多くの利用者が訪れ、目標値を達成できた。 ※荒川図書館は平成28年12月に閉館、図書館機能を備えたゆいの森あらかわが平成29年3月に開館したため、29年度以降はゆいの森あらかわの利用者数に置き換えている。 | ー |
| | 指標3 | % | 33.1 | H22 | 36.0 | H28 | 43.1 | ○ | あり なし | まちなか花壇や荒川自然公園ウォーキングロードの整備、区民会館の大規模改修並びに複合施設(ゆいの森あらかわ)の整備により地域の賑える場を創出し、目標値を達成できた。 | ー |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | 目標 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ 予定時期 | | |
| | その他の数値指標1 | % | 36.8 | H22 | | | 39.0 | | 複合施設(ゆいの森あらかわ)の整備等、地域活動の場の創出が寄与している。 | ー | |
| 4)定性的な効果発現状況 | <ul style="list-style-type: none"> 図書館、文学館、子ども施設から構成される複合施設(ゆいの森あらかわ)については、平成29年3月の開館以降、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の方に来館いただいている(一日平均来館者数は2,000人程度)。本施設には、飲食可能なスペースとして、1階のカフェや2階と5階のコミュニティスペース、その他テラス席を用意しており、地域活動の場や賑わいの場としても寄与している。 複合施設(ゆいの森あらかわ)内のあちこちで子どもたちが勉強する姿が見られ、日常的な学習の場として積極的に活用されている。 複合施設(ゆいの森あらかわ)周辺の通りの歩行者が増え、地域のにぎわいにつながっている。 | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | | | 実施状況 | | | 今後の対応方針等 | | | | |
| | モニタリング | ー | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | ー | | | |
| | 住民参加プロセス | <ul style="list-style-type: none"> (仮称)荒川二丁目複合施設計画説明会の開催 (仮称)荒川二丁目複合施設の公募公債実施 (仮称)荒川二丁目複合施設愛称公募 ゆいの森あらかわ地域内集会の実施 | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | ● 街づくりの実施にあたっては、地元住民や関係団体と連携し、区民の意向を反映した街づくりを推進していく。 | | | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | 区民有志による街なか花壇づくり | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | ● 区民が主体となって街なか花壇づくりを行い、街の環境美化と地域コミュニティの醸成を図ることとし、区はその活動をサポートしていく。 | | | |
| | | 景観まちづくり塾 | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった | | | ● 引き続き、多様な空間を持つゆいの森あらかわを拠点とした様々な活動を支援していく。 | | | |

様式2-2 地区の概要

荒川地区(東京都荒川区) 都市再生整備計画事業の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | 従前値 | 目標値 | 評価値 | |
|--|----------------|------|----------------|----------------|---------------|
| コミュニティを醸成しにぎわいを創出する「魅力溢れる地域」を創り、まちの活性化を図る ・滞在型の空間を主体とする学習・交流の場や、子育て世代を支援する拠点を整備することで地域コミュニティを醸成し、まちの活性化を図る ・点在する地域資源の回遊性を高めることで、区内外からの来訪や地域のにぎわいを創出し、まちの活性化を図る | 地域住民の地域活動への参加率 | 単位：％ | 36.4% H22 | 40.0% H28 | 31.8% H29 |
| | 文化施設の利用者数 | 単位：人 | 1,155,199人 H22 | 1,510,000人 H28 | 1,645,816 H29 |
| | 「地域の憩える場」の認識 | 単位：％ | 33.1% H22 | 36.0% H28 | 43.1% H29 |



| | |
|----------------------|---|
| まちの課題の変化 | ゆいの森あらかわの整備等、地域の憩える場を創出したが、地域の行事・活動への参加率を大きく伸ばすことはできなかった。今後は地域の行事・活動への参加率改善が課題である。 |
| 今後のまちづくりの方策 (改善策を含む) | <ul style="list-style-type: none"> 新たな公園や広場の整備及び既存施設の適切な維持・管理により、地区内に憩える場を確保。 「だれでもトイレ」やLED街路灯、街なか花壇、歩道へのベンチ等の整備により、回遊性を向上。 「荒川コミュニティカレッジ」等でボランティア人材を育成するとともに、ゆいの森あらかわ等の地区内施設で活動の場を創出。 ゆいの森あらかわ等の地区内施設で地域と連携したイベント等の事業を実施。(防災訓練、町会活動など) ゆいの森あらかわに移転した旧荒川図書館跡地について、地元のまちづくり組織と協力し、区民主体の公園計画検討を実施。 |